

情報漏洩リスクに合わせて Web サービスを制御し 業務上の Web 活用を支援する 「i-FILTER®」Ver.9、4月1日より提供開始 ～国内外約 2,000 の Web サービス機能の制御と URL フィルタリングの併用でシャドーIT 対策を実現～

情報セキュリティメーカーのデジタルアーツ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:道具 登志夫、以下 デジタルアーツ、証券コード 2326)は、情報漏洩防止と内部統制を推進する企業・官公庁向け Web フィルタリングソフト「i-FILTER (アイフィルター)」を大幅に刷新し、この度、新たに Web サービスを制御する機能を搭載した「i-FILTER」Ver.9 (Windows 版・Linux 版)を 2014 年 4 月 1 日(火)より提供開始いたします。

近年、クラウドサービスをはじめとした新しいインターネットの活用が進み、会社として公式に許可していないオンラインストレージサービスや CRM、グループウェアと言った Web サービスを日常的に利用する社員が増えてきました。このような「シャドーIT」と呼ばれる、会社で公式に許可していない Web サービスの業務利用により効率性や利便性は高まっていますが、情報システム担当者が全て把握・管理するのは困難なことから、企業が抱えるリスクは非常に高く、新たに企業の情報管理体制を見直す必要性が出てきました。

このような背景から、今回、デジタルアーツが提供する最新版「i-FILTER」Ver.9 では、社内のポリシーと業務における利便性の両方を考慮し、必要に応じて適切に Web サービスを防御設定することを可能にしました。従来から実績のあるカテゴリによる URL フィルタリングに加え、情報漏洩リスクで 5 段階に整理された国内外の約 2,000 に及ぶ Web サービスの機能を制御できます。例えば、部署ごとに SNS やオンラインストレージをはじめとした Web サービス内のカテゴリ別の利用設定が可能になる他、個人用と業務用の混在したクラウドサービスも適切な制御が可能になるため、全面的に禁止する必要もなく、業務利用における柔軟な対応が可能になります。

i-FILTER Ver.9のWebサービス制御設定の例

契約サービスの限定	SNSの使い分け	業務利用への限定
<p>非公認サービス</p> <p>会社公認のファイル共有は送受信可 他のファイル共有も受信は可</p> <p>コミュニケーションを減速させず 情報漏洩リスクは極力排除</p>	<p>広報</p> <p>広報はSNS公式ページの更新も可 SNS内の不適切ページは閲覧ブロック</p> <p>Webサービスとカテゴリの 多層制御で適切な利用</p>	<p>業務利用</p> <p>Googleアカウントで業務利用IDのみ許可し 個人IDでのログインをブロック</p> <p>個人用と業務用の混在した Googleアカウントも適切に制御</p>

PRESS RELEASE

「i-FILTER」Ver.9 の主な新機能

- オプションだった「SSL Adapter」と「Log Search」を Ver.9 から標準搭載。Web サービスの情報漏洩リスクに基づく利用状況を可視化し、Web 利用をよりわかりやすく、Reporter 機能を大幅改善。
- 国内外の約 2,000 に及ぶ Web サービスの機能に対応し、Web フィルタリングのカテゴリフィルターとの併用を可能に、Web サービスの機能別制御を実現
- 指定された Web サービスに限定した HTTPS 通信の可視化により、サーバーの負担を軽減。パフォーマンス劣化を最小限に防ぎ、HTTPS の圧倒的な高速化を実現。
- サーバー間のキャッシュ共有 (SP-Cache) を実現。
- その他の新機能
フィルタリングカテゴリ追加、認証機能やヘッダーコントロールをはじめとしたプロキシのセキュリティ強化、ブロック除外やグループ継承の自由度向上など利便性強化、TOP 画面への使用中スレッド数やカテゴリ別トラフィック表示などの保守性強化)



標準パッケージもこれまでの URL フィルタリング (Proxy) に加え、「シャドーIT」における Web サービスの業務利用の制御需要が今後さらに伸びることを想定し、今までオプションだった「SSL Adapter」、「Log Search」も搭載いたしました。そして、30 ライセンスで年間 266,000 円～(予定)(税別、保守料含む)にいたしました。尚、すでに「i-FILTER」製品をご利用いただいているお客様は、販売店にお問い合わせください。

また、今後、Web サービスの業務利用が一層浸透し、それに応じたセキュリティ対策も進むことが予想されることから、3 年間で 75 億円の売上を目指します。デジタルアーツでは、情報セキュリティメーカーとして、安心してインターネットに接続できる環境を提供すべく、お客様の貴重なご意見を製品開発に活かし、更なる製品使用満足度向上を目指してまいります。

■ 「i-FILTER」について <http://www.daj.jp/bs/if/>

「i-FILTER」は、情報漏洩対策と Web の有効利用のための企業向け Web フィルタリングソフトです。国内における Web フィルタリングソフトのシェア No.1 を獲得しました(2012 年 5 月 株式会社ミック経済研究所調べ、2012 年 7 月 株式会社富士キメラ総研調べ、2012 年 8 月 株式会社アイ・ティ・アール調べ)。業界最大級の Web フィルタリングデータベースと、特許を取得したフィルタリングテクノロジー「ZBRAIN」により、業務中の閲覧が不適切な Web サイトを高い精度で遮断します。また、Web メールの利用や掲示板の書き込みなどといった、Web 経由の情報漏洩を防ぐとともに、その内容を記録・確認・保存することが可能なため、内部統制対策としても有効なソリューションです。「i-FILTER」は、すでに全国の企業・官公庁 7,100 団体以上、学校・教育機関 26,000 校以上に導入されています。(2013 年 3 月末現在)

■ デジタルアーツについて <http://www.daj.jp>

デジタルアーツは、フィルタリング技術を核に、情報セキュリティ事業を展開する企業です。製品の企画・開発・販売・サポートまでを一貫して行い、国産初の Web フィルタリングソフトを市場に出したメーカーならではの付加価値を提供しています。また、フィルタリング製品の根幹を支える国内最大級の Web フィルタリングデータベースと、世界 27 の国と地域で特許を取得した技術力が高く評価されています。国内でトップシェアを誇る Web フィルタリングソフトとして、個人向け「i-フィルター」・企業向け「i-FILTER」を提供する他、企業向けとして電子メールフィルタリングソフト「m-FILTER」、セキュア・プロキシ・アプライアンス製品「D-SPA」、ファイルセキュリティソリューション「FinalCode」を提供しています。

※ デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTER、D-SPA、FinalCode は、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。

※ その他、上に記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。